

米奥小だより

令和7年10月20日(月)

No.27

米奥小学校 校長 北添 忠

〇人権・道徳参観日

10月18日(土)は人権道徳参観日でした。毎年この時期に行っています。各クラスが人権学習または道徳学習の授業を公開し、合わせて児童・保護者対



象の講話も行っています。

9時30分からの講話は、人権擁護委員である岡本さんと吉村さんに来ていただき、「子どもと人権」と題してお話をしていただきました。人権まもる君とあゆみちゃんの人形も登場し、子どもたちにとって聞きやすい雰囲気

づくりをしてくれました。いじめなどの話もあり、それに関する質問では、児童みんなが正しい回答に手をあげていたので、いじめについて子どもたちは知識としては正しい判断ができるころまでは成長していることを感じ、嬉しく思ったことでした。ただ、最終的には正しい行



動が必要です。自分のまわりでいじめがあったときに、傍観者ではなく、いじめを受けている人によりそえる行動がとれるようになってもらいたいと思っています。

10時30分からは公開授業でした。タブレット

PC上で意見を共有できる仕組みを活用した授業もあれば、保護者が参加しやすい内容を題材としたものなど、それぞれ担任の個性を感じる授業を展開していました。



人権や道徳の意識は授業のみで培われるものではありません。学校や家庭、地域の中での日々の経験を通して向上していくものです。授業や講話などで正しい知識を身に付け、それが実際の言動となって表れるように、日々大人の声掛けが必要だと思います。世の中に出ると、私たち自身、常に試されていて、正しい判断とは何かを考えます。

良い行動をしようとする際、恥ずかしいと感じてしまう時もあります。私たちも子どもたちといっしょに道徳心や人権感覚をみがいていくのがいいのかもしれないね。

